

発見者が運営スタッフ以外の場合

### 火災発見

第一発見者「火事だー！」と叫ぶ

#### 情報伝達

近くにいる運営スタッフに報告後、  
消火に向けて行動

#### 情報伝達

運営スタッフはインカムで  
火災の場所・状況を隨時共有

イベント開催に伴う  
防火安全対策の例

#### 通報：担当 \_\_\_\_\_

イベント本部は、防災センター（内線〇〇）  
へ連絡し火災発生を伝える。

火災発見時、明らかに延焼拡大の傾向が強い場合 119番通報のうちに防災センターへ連絡

119番通報

▼

火事です

▼

住所・施設の名称

▼

燃えているもの

▼

建物の状況

▼

避難状況

▼

通報者氏名

▼

折り返し連絡の電話番号

#### 初期消火：担当 \_\_\_\_\_

消防担当者は、消火器による消火活動を行なう。

火元にケガ人がいた場合、インカムで共有、避難誘導担当に引き継ぐ。

消防隊到着後、引継いだのちに速やかに避難

※電気が火元になっている場合は感電の心配があるためブレーカーを落とし、電源を遮断してから消火する。

※そばに火が燃え移りそうなものがある場合、火元から遠ざけること。（チラシ等紙類、木材、什器など）

#### 避難誘導：担当 \_\_\_\_\_

避難誘導担当は、大声でどこからどこへ避難できるか指示する。

ホール内の照明をつけて明るくする。

※出火箇所を避け、煙などの被害が出ない経路を選択する。

※ハンカチ等を鼻と口に当て、煙を吸い込まないように姿勢を低くして避難するよう指示する。

#### 消防隊到着

##### ★ケガ人がいた場合

イベント本部に連携、消防へ救急車要請を行う。

※自身で移動ができず、危険な場所にいる場合は安全な場所に搬送。

##### ★心肺停止が疑われる場合

速やかに AED での処置を行う。  
(内線 \_\_\_\_\_ に連絡)

★具合の悪くなった人がいたら安全な場所で休む or イベント本部に連携、消防へ救急要請を行う。

#### 情報伝達

避難誘導担当は外の安全な場所に参加者を誘導する。

自力で避難できない人がいれば、スタッフに声をかけ避難場所まで搬送する

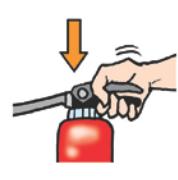
#### 情報伝達

避難担当者は、以下を確認

- ・逃げ遅れた人がいないか。
- ・搬送されるべき人が搬送されているか。

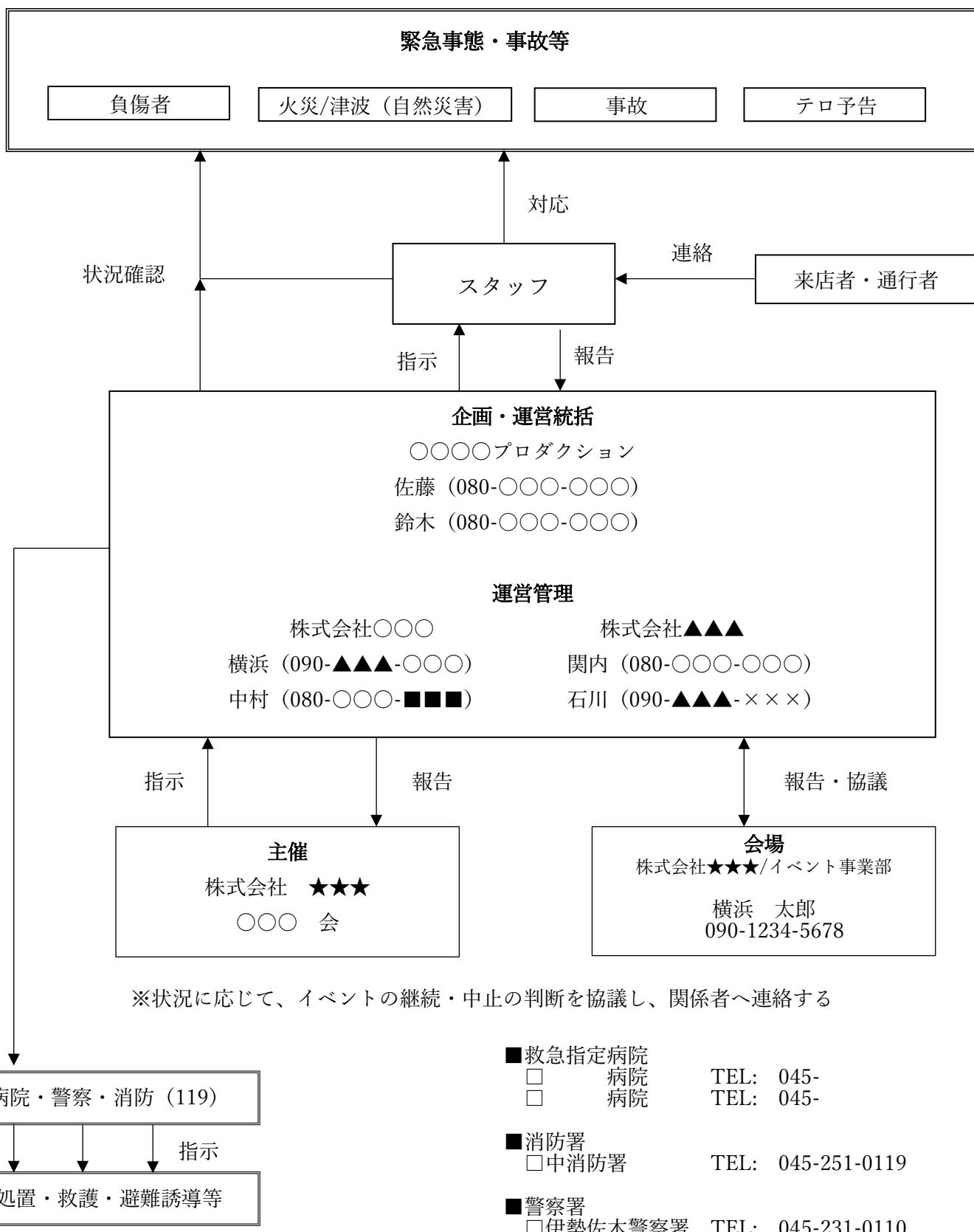
#### 消防器の使い方

1. 黄色の安全ピンを引き抜く
2. ホースの先端を持ち火元に向ける
3. レバーを強く握って放射する



# 緊急連絡体制

緊急連絡体制の作成例



※火災発生時は、119番通報、初期消火、入場者の避難誘導を速やかに行う。

※津波警報発令時は、指定の津波避難施設もしくは、周辺の高い建物に避難する。